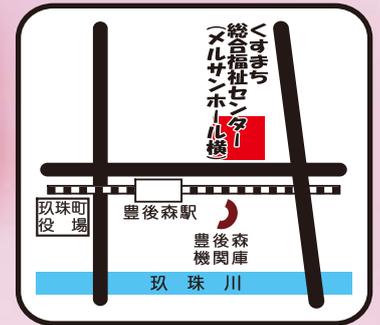


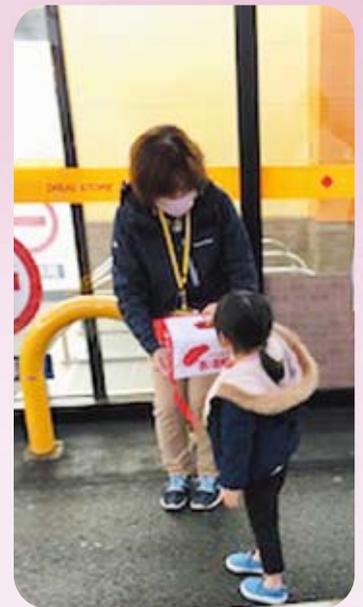
めるへん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

やさしいお気持ち♡ ありがとうございました



12月21日町内8カ所で街頭募金が行われました。
お金を握りしめて、募金箱に駆け寄ってくれた男の子、「寒い中ご苦勞様です」と温かいお言葉と一緒に募金していただいた方、たくさんのおやさしいお気持ちをいただきました。集まった募金額は、**122,554円**でした。
皆さまからの温かいお気持ちは、歳末お見舞いとして鷹巣学園ほか、民生委員を通じて、独り暮らし高齢者や重度障がい者の方々に配布されました。
各店舗の方々、募金していただいた皆さま、ご協力誠にありがとうございました。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。



社会福祉法人
珍珠町社会福祉協議会

会長 石井 由久雄



一昨年に続いて、昨年も災害の多い年でした。大阪、北海道の地震、西日本豪雨、さらに日本列島を縦断する台風も連続しました。社協では普段の備えの大切さを痛感し、見守りと災害に役立つ「支え合いマップづくり」に取り組んでいます。

ところで、私たちの住んでいる珍珠町に目を向けてみましょう。町内には自然や施設などいろんな自慢できる場所がたくさんあります。あるサロンドで「町内あちこちミニ（見に）バスハイク」を実施しました。造成中の工業団地や久留島記念館、角牟礼城三の丸、機関庫などを見学し、伐株ハウスからの珍珠盆地の眺望は天下逸品で、この町に住んでいることを幸せに思ったそうです。万年山のミヤマキリシマ、立羽田や宇戸の庄の紅葉、キャンプやパークゴルフの三日月の瀧公園など多くの名所があります。

社協はこの自慢できる町を、日常活動を通して、日本一住みやすい「福祉の町」にしていきたいと思っています。「子育て支援」から「高齢者福祉」まで全ての世代のために頑張ります。

介護保険制度は自立重視へと変わってきました。これからは、住民の皆様が「協力して支え合う」仕組み作りが不可欠です。

益々のご協力をお願い致しますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。



私たちは地域の多様な関係者がお互いの知恵・意識・スキルを持ち寄る場をコーディネートし、行政と住民、住民と住民をつなげ、問題解決だけではなく、新たな取り組みをつくりだしていくのが、「地域福祉の事務局」としての社協の役割とと思っています。

地域で暮らす様々な人々が、安心して互いに支え合い、かけがえない存在として暮らすことのできる町へ、職員一同丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

福祉活動に感謝

12月18日（火）大分県庁に於いて、平成30年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰の伝達式が行われ、県内より個人2名・3団体が表彰を受けました。

玖珠町より厚生労働大臣感謝状を工藤和子氏が授与されました。

工藤さんは平成3年から11年3月まで8年間、玖珠町受託デイサービスの献立作成ボランティアとして協力していただき、介護保険制度が始まり職員が配置された後は、月に3回の給食サービス事業の献立作成をボランティアで20年間続けてこられたことに対して、感謝状が贈られました。



前列右から2人目

障がい者の自立と社会参加

12月9日（日）に、平成30年度大分県「障がい者週間」福祉大会豊肥大会が、竹田市総合文化ホール・グランツタけたにて開催され、玖珠町から13名が参加しました。この大会は、大分県民の障がいへの理解と関心を深め、障がいのある人に社会参加の意欲を高めてもらうために、大分県障がい者社会参加推進協議会が開催しています。今年度は、豊肥地区より3人の当事者体験発表に続いて、コピーライター吉田寛氏による「なしかのこころ」というタイトルで記念講演がありました。ご自身が行っている健康法の紹介があり、裸足で過ごす、カボスの活用（頭皮に良いらしい）、笑いを欠かさず、素直な心で、練習をする（いくつになっても新たなことに挑戦）。頭の文字を並べると、「はか（墓）わすれ（忘れ）」となり、このような生活を送ると、元気でいきいきと長生きできるといふユーモアを交えた軽快なトークに、会場は大きな笑いに包まれました。その後、当事者団体によるフラダンス、竹田支援学校高等部の大和太鼓、マンドリン演奏等のパフォーマンスで会場を盛り上げました。



今回のキラッとさん☆

今回はわらべの館で月2回、ボランティアで絵本の読み聞かせの活動をされている「えほんの会はびねず」のみなさんです。



毎月第1と第3水曜日、午前10時30分より、わらべの館図書室で開催しています。わらべ歌や紙芝居、エプロンシアターや手遊びなど毎回盛りだくさんの内容です。平成15年に読み聞かせの講習を受けた有志の方でスタートし、現在会員7名で活動され、これまでにえほんの会の参加者は約1万人になるそうです。

代表の秋山真由美さんは「年々参加者が少なくなっています。ですが、親子の方だけでなく大人の方にも是非聞いてほしいです。読み聞かせをしてくれる方も募集しています。」とおっしゃられています。

これからの、益々のご活躍をお祈りします。



『地域で輝くボランティアの力』をテーマに

九重町保健福祉センターに於いて、12月7日に日田玖珠ブロック研修会が参加者約100名で開催されました。特定非営利活動法人ひとネット代表谷川真奈美さんによる、講演を聴きました。

谷川さんは祖母の介護で悩んでいたところに、「人と人をつなげる」ふれあい囲碁活動を知り、それを介護に活かし、以後団体を立ち上げふれあい囲碁を活用した地域づくり人づくり事業で活動中です。

『ボランティアはやりたい人・出来ること・社会が必要としていること等、誰かが笑顔に



なることを考える。ボランティア人材を増やすには、ボランティアの内容を解りやすくする、初めての方にも役割がある、若い人を呼び込むには子どもと一緒に参加できる、ボランティア体験会をやってみる』等、とても参考になる内容でした。

その他、アトラクションとして、笑いヨガ宝会代表甲斐恭子さんによる笑いヨガで気分転換が出来ました。笑いヨガは認知症予防にも効果があると紹介があり、最初は恥ずかしく戸惑っていた皆さんも、必死に大きな声で笑っていました。



玖珠町ファミリーサポート・センター事業 第11回ファミリーサポート交流会

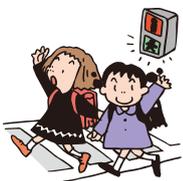
12月9日(日)に老人福祉センター・万年の間にてファミリーサポート「よろしく会員」「まかせて会員」の交流会が開催されました。今回は「おしゃべりタイム」として保健師や歯科衛生士の方にも参加していただき、お茶を飲みながら気軽に相談できるようになりました。また、皆さんでクラフトテープを使ったリース作りを行い、色とりどりのリースが出来上がりました。ご参加・ご協力いただいた皆さんありがとうございました。



皆でワイワイ交通安全マスコット作り

玖珠郡老人クラブ連合会女性部研修会が11月29日(木)メルサンホール健康増進室で開催されました。玖珠・九重両町より87名の参加があり、志津里郡老連会長の「女性の社会参加は大切です。認知症予防にもつながります」とのあいさつの後、クラフトテープを使った金魚のマスコットを悪戦苦闘しながら作りました。作り方を速く覚えた方が同じテーブルの方に教えたり、手伝ったり、作り方を工夫したりとにぎやかに時間は過ぎていきました。

玖珠警察署荒巻交通課長へ、玖珠町老連櫻井女性部代表と九重町老連佐竹女性部代表より交通安全マスコットの贈呈を行った後、課長より交通安全全講話がありました。



介護保険のお話 13



今回の介護のお話しでは、訪問看護について紹介したいと思います。

事業所名	訪問看護ステーション いわさと	長内科小児科胃腸科医院
事業所住所	玖珠町大字岩室225-8	玖珠町大字帆足232-8
事業所の説明 (どういった 事を行っている のか)	私たち訪問看護師が直接ご自宅に訪問し、 体調管理、お薬の管理、またご家族の介護 相談などの支援を行います。住み慣れたご 自宅です。安心して療養できるようお手伝い します。	当院の訪問看護は、医師の訪問診療に連動 する形でスタートし、約20年になります。 病院へ受診する事が困難な方のご自宅へ伺 い、健康状態のチェックや必要に応じた医 療処置を行ったり、医療機器の管理やアド バイス、細かな服薬指導、生活や食事につ いてのアドバイスをしています。又、当 院では医師直接の訪問診療も行っています ので、医療・看護の視点から在宅での生活 をより長く健康に過ごせるようお手伝い できればと思っています。
		

支え合いの地域づくり

人と人とのつながり、ご近所を気にかける思いやりの気持ち、小さな支え合いの活動が玖珠町全域に広がることをめざして、4地区での支え合い会議（第2層協議体）を進めて3年目を迎えました。参加者はコミュニティ協議会役員・民生委員・老人クラブ役員・ボラ連役員で毎年3回開催し、協議してきました。今年度は第1層協議体を始めるにあたり準備会も兼ねて地区によっては自治委員に参加協力をお願いして開催しました。これまでの振り返りと少しずつ地域で始まっている介護予防活動、週1体操教室や週1集いの場の活動報告で今困っていること、始めてみて良かったこと等を発表していただき、そこから地域で解決できること、第1層協議体で検討してもらいたいことに振り分けました。



介護保険制度が2000年4月にスタートしてからサービ（個別支援）の質・量ともが増え、整いましたが、昔はあった本人と多様な地域の支え合いが、社会的孤立が問題となりはじめました。介護保険の改正にあわせ、地域のつながりと介護保険サービスを組み合わせる（住民と専門職がつながる）地域包括ケアシステムを充実させるために、一人一人が地域で自立した生活が送れるよう、支え合い会議は地域の声やつながりを探し、協議し活動に結びつけるための場です。



健康寿命を延ばす

3つのポイント

より早期からの虚弱（フレイル）予防：社会参加・身体活動・栄養



○日常生活自立支援事業○

あなたの周りで次のようなことで困っている方はいませんか？

- 福祉のサービスを受けたいけれど、どうしたら良いかわからない。
 - 新聞代やガス代などの支払いやお金の出し入れでいつも迷ってしまう。
 - 受け取ったお金を計画的に使えない。
 - 通帳や印鑑を無くしてしまって、困っている。
 - いろいろな書類が来るけれど、よく分からない。
- ⇒社会福祉協議会がお手伝いします！**

【お問合せ】 あんしんサポートセンター ☎ 0973-72-5513

くらしと仕事の相談室

対象となる方

- ・玖珠町内に在住している方
- ・生活保護を受給していない方

相談内容〈仕事〉

- ・病気になって働けなくなった
- ・仕事が長続きしない
- ・長い間働いていない・自分にあった仕事が見つけれない等

〈お金〉

- ・収入に比べて返済が多い
- ・多重債務がある
- ・公共料金が払えず請求書が溜まっている生活
- ・何年も引きこもり状態にある
- ・頼る人がいない
- ・人とのコミュニケーションが苦手
- ・どこに相談して良いかわからないご近所トラブル等

まずは、ご相談ください

玖珠町社会福祉協議会 自立支援相談窓口
☎ 0973-72-5001

E-mail seikatsukonkyu@kusushakyo.or.jp

相談受付時間 午前8:30～午後5:30
月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）

今回ご紹介するサロンは戸畑サロンです。毎月1回戸畑自治区の高齢者が集まって体操の後、学習会やゲーム・工作等を行っています。戸畑サロンは60歳代の若い方が多く参加協力しています。この日は毎年恒例のお正月飾り作りを行っていました。今年度から新しい取り組みとして、週1体操教室を5月から始めました。町が進めているめるん元気アップ体操のボランティア養成講座を多くの方が受講されていて、毎週木曜日の朝8時30分（冬場は午後）行っています。週1回、地区の人と会えるので安否確認も出来て良かったと言われています。自治区の理解もあり使用料の免除も出来たそうです。高齢者は若い人への世代交代を考えているようですが、



お互いに支え合い、これからも楽しみながら地域づくりを
して
くだ
さい。

シルバー作品展 のご案内

2月24日(日)～3月3日(日)の期間、メルサンホール・ホアイエにおいて玖珠町老人クラブ主催でシルバー作品展が開催されます。出品資格は町内の60歳以上の方になります。手芸・写真工芸・絵画・俳句・書道等の作品です。多くの方の出展をお待ちしております。詳しくは玖珠町社会福祉協議会内老人クラブ事務局までお問い合わせ下さい。



社会福祉協議会へ



(平成30年10月24日
～平成30年12月23日)

香典返し

太田本村	野上	博文	様
坂口	梶原	富子	様
中山田	合原	正則	様
下綾垣	後藤	俊一	様
北組	宿利奈保美		様
長小野	日隈	寛幸	様
山王	松本	利彦	様
栃ノ木	衛藤正一郎		様
専道	宿利	好文	様
田屋	神田	光子	様
元組上	小野	英世	様
匿名			1件

寄付金

玖珠ライオンズクラブ	様
アカデミア玖珠	様
国際ソロプチミスト玖珠	様

物品寄付

門出	梅木	道雄	様
玖珠九重農協稲作研究会			様
九重町	衛藤	盛久	様
匿名			2件

「ご本人ご家族の了承を得て掲載しています」

寄付いただきました

国際ソロプチミスト玖珠の皆さまより寄付金をいただきました。クリスマス会の益金の一部を今年もご寄附くださいました。当日は他の福祉団体の代表の方々と一緒に、石井社協会長が、ソロプチミストの会長より寄付金を手渡ししていただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございます。ございました。

ありがとうございます

12月21日、玖珠九重農協稲作研究会石井龍文部会長より、特Aランクの玖珠九重産ひとめぼれ新米60kgを寄贈していただきました。平成18年から毎年、地域への貢献活動の一環として両町社協に寄贈いただいています。誠にありがとうございます。



昨年も九重町の衛藤盛久さんより、もち米30キロとサツマイモ35キロをいただきました。大きくて大きなサツマイモはデイサービスご利用者のおやつとして食べていただいたほか、ふれあい弁当にも利用させていただきました。誠にありがとうございます。



森南部長寿会の皆さんが年末に老人福祉センターの玄関先に門松を建てて下さいました、竹伐りから設置まで手際よく準備していただき、立派な門松ができました。毎年ありがとうございます。



2月・3月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
27	28 ■老人福祉センター 休館日	29 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■障害年金無料相談会	30 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	31 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	2 / 1 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	2 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
3	4 ■老人福祉センター 休館日	5 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	8 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	9 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
10	11 (建国記念日)	12 ■老人福祉センター 休館日 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	13 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	14 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	15 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	16 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
17	18 ■老人福祉センター 休館日	19 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	20 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 ■法律相談会 (要予約) (ともに老人福祉センター)	21 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	22 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	23 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
24	25 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	27 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線)	28 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	3 / 1 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線)	2 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
3	4 ■老人福祉センター 休館日	5 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■給食サービス	6 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	7 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	8 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	9 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
10	11 ■老人福祉センター 休館日	12 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	13 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	14 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	15 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	16 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
17	18 ■老人福祉センター 休館日	19 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	20 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	21 (春分の日) ■ふれあい福祉バス (小野原線)	22 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	23 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
24	25 ■老人福祉センター 休館日 ■給食サービス	26 ■障害年金無料相談会 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線) ■男性ふれあい広場 (老人福祉センター)	27 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	28 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	29 ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	30 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)
31	4 / 1 ■老人福祉センター 休館日	2 ■ふれあい福祉バス (大野原線・伐株線・ 山浦線)	3 ■ふれあい福祉バス (鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	4 ■ふれあい福祉バス (小野原線)	5 ■給食サービス ■ふれあい福祉バス (鏡山線・小田線・ 山浦線) ■いきいき元気教室 (老人福祉センター)	6 ■おもちゃ図書館 (福祉センター)

編集発行所 / 玖珠町社会福祉協議会

平成31年1月号 (隔月1回15日発行) No. 124

印刷 / ぐす印刷センター
大分県玖珠町大字帆足225-3
TEL 72-0457 FAX 72-6822



年が明け『平成』も残りわずかとなりました。激動の『昭和』を生き抜いてこられた方にとって、平成は駆け足で過ぎて行ったのではないのでしょうか？ 次の年号がどんなものになるか気になるところですが、気になるといえば、ラグビーワールドカップが大分で開催されることです。世界のプレーを間近で観ることが出来る滅多にない機会です。毎年開催される車いすマラソンでも、来年の東京オリンピックでもたくさんの方々が活躍されます。自分ができるボランティア、まずは地域の中で始めたいと思います。皆さんは、今年何を始めますか？ 笑顔あふれる一年でありますように。(H)

編集後記

